

紫陽花ゼリーの会

6月26日(金)に紫陽花ゼリーの会を行いました。

ホールにふきのとう組とつくし組の子どもたちに集ってもらい、紫陽花がどうしていろいろな色になるか、紫キャベツを使って実験を行いました。

紫キャベツを千切りにし、鍋に紫キャベツと水を入れ煮出したものを、3つの容器にわけ用意し、そこに酸っぱいレモン汁と、少し苦い重曹を入れたらどんな色になるのか考えてもらいました。

「あお」「みずいろ」と答える子どもたち。答え合わせをしていきます。レモン汁を入れた方はピンク色に変わり、重曹を入れた方は青色に変わりました。「わぁびんく」「すごい」「あおあたた」「ぜんぶませたらどうなるの」「すっぱいにおいした」と変化する様子に興味津々です。

紫陽花も紫キャベツと同じ色の素をもっているから、いろいろな色の花があることを説明しました。



ふきのとう組はクラスに戻りゼリーになったものを食べてもらい、つくし組の子どもたちには3種類の色のゼリーをフォークを使ってクラッシュして、ミルクゼリーの上に盛り付けしてもらいました。「いろがきれい」「きらきらしてる」と楽しんでいる姿がありました。

